

## 令和2年度ネットリサーチ「生活意識」及び「県政への要望」に関するアンケート結果報告書

### 結果のポイント

- 暮らし向きの満足度については、【満足】が68.0%となっている。
- 暮らし向きの変化については、「変わらない」が56.5%で最も高い。一方で、【苦しくなった】が34.9%となっている。
- 「暮らし向きが苦しくなった」と回答した方に、苦しくなった理由について聞いたところ、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」が33.8%と最も高くなっている。
- 県政への要望については、「地域医療・福祉の充実（医療・福祉人材確保、医療提供体制・地域保健の充実、がん対策等）」が33.2%で最も高く、次いで「結婚・出産・子育て支援（幼児教育・保育サービスの充実、子育て環境の整備、虐待防止等）」が18.9%、「雇用の創出（成長分野等の企業の誘致、産業を支える人材の育成・確保等）」が17.5%と続く。

### 調査結果の概要

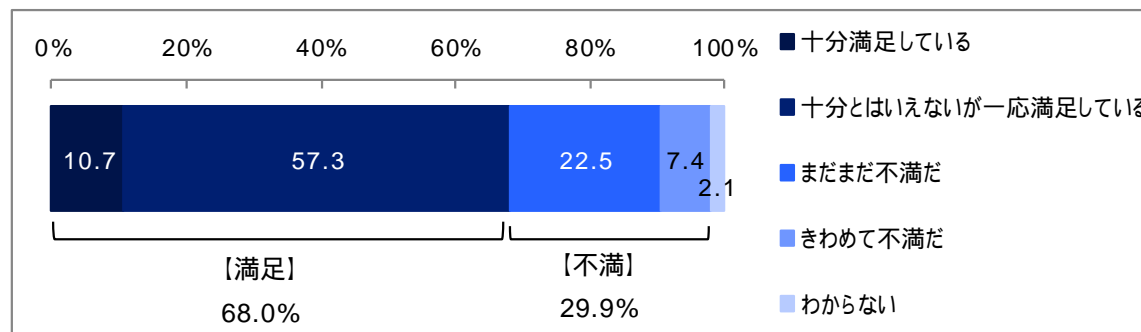
#### 1 暮らし向きの満足度

- ◇ 「十分満足している」(10.7%)と「十分とはいえないが一応満足している」(57.3%)を合わせた【満足】が68.0%、「まだまだ不満だ」(22.5%)と「きわめて不満だ」(7.4%)を合わせた【不満】が29.9%となっている。

Q1.あなたは、現在の暮らし向きについてどの程度満足していますか。

SA

|                   | %     | n    |
|-------------------|-------|------|
| 全体                | 100.0 | 1000 |
| 十分満足している          | 10.7  | 107  |
| 十分とはいえないが一応満足している | 57.3  | 573  |
| まだまだ不満だ           | 22.5  | 225  |
| きわめて不満だ           | 7.4   | 74   |
| わからない             | 2.1   | 21   |



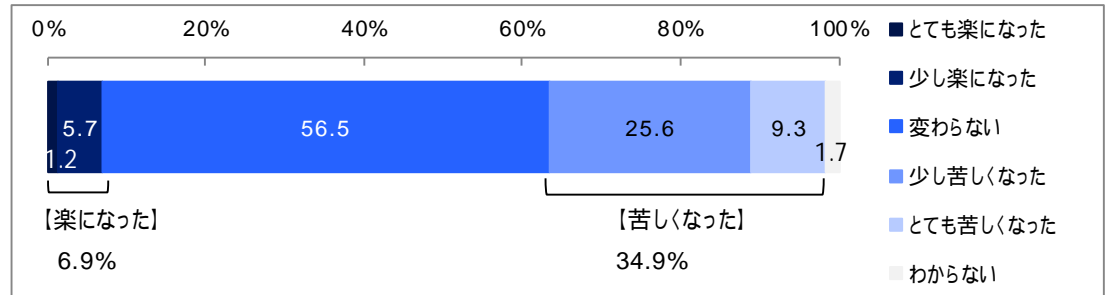
## 2 暮らし向きの変化

◇ 「変わらない」が56.5%で最も高い。

◇ 「少し苦しくなった」(25.6%)と「とても苦しくなった」(9.3%)を合わせた【苦しくなった】が34.9%となっている。

Q2.暮らし向きは、昨年の今ごろに比べて楽になりましたか。それとも苦しくなりましたか。  
SA

|           | %     | n    |
|-----------|-------|------|
| 全体        | 100.0 | 1000 |
| とても楽になった  | 1.2   | 12   |
| 少し楽になった   | 5.7   | 57   |
| 変わらない     | 56.5  | 565  |
| 少し苦しくなった  | 25.6  | 256  |
| とても苦しくなった | 9.3   | 93   |
| わからない     | 1.7   | 17   |



## 3 苦しくなった理由

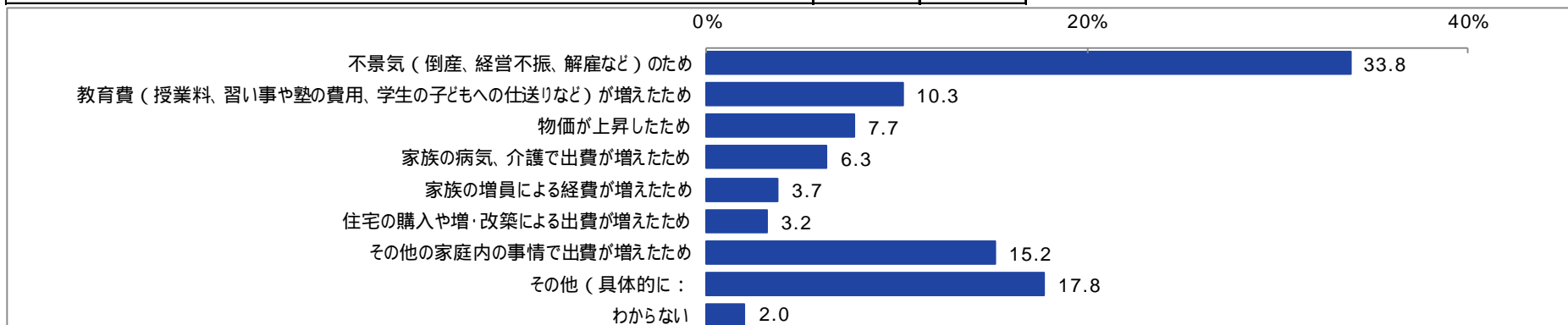
◇ 「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」が33.8%で最も高い。

（Q2で「4. 少し苦しくなった」「5. とても苦しくなった」と回答した方へ）

Q3.苦しくなったのは、主にどのようなことからですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

SA

|                                       | %     | n   |
|---------------------------------------|-------|-----|
| 全体                                    | 100.0 | 349 |
| 不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため                  | 33.8  | 118 |
| 教育費（授業料、習い事や塾の費用、学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため | 10.3  | 36  |
| 物価が上昇したため                             | 7.7   | 27  |
| 家族の病気、介護で出費が増えたため                     | 6.3   | 22  |
| 家族の増員による経費が増えたため                      | 3.7   | 13  |
| 住宅の購入や増・改築による出費が増えたため                 | 3.2   | 11  |
| その他の家庭内の事情で出費が増えたため                   | 15.2  | 53  |
| その他（具体的に：                             | 17.8  | 62  |
| わからない                                 | 2.0   | 7   |



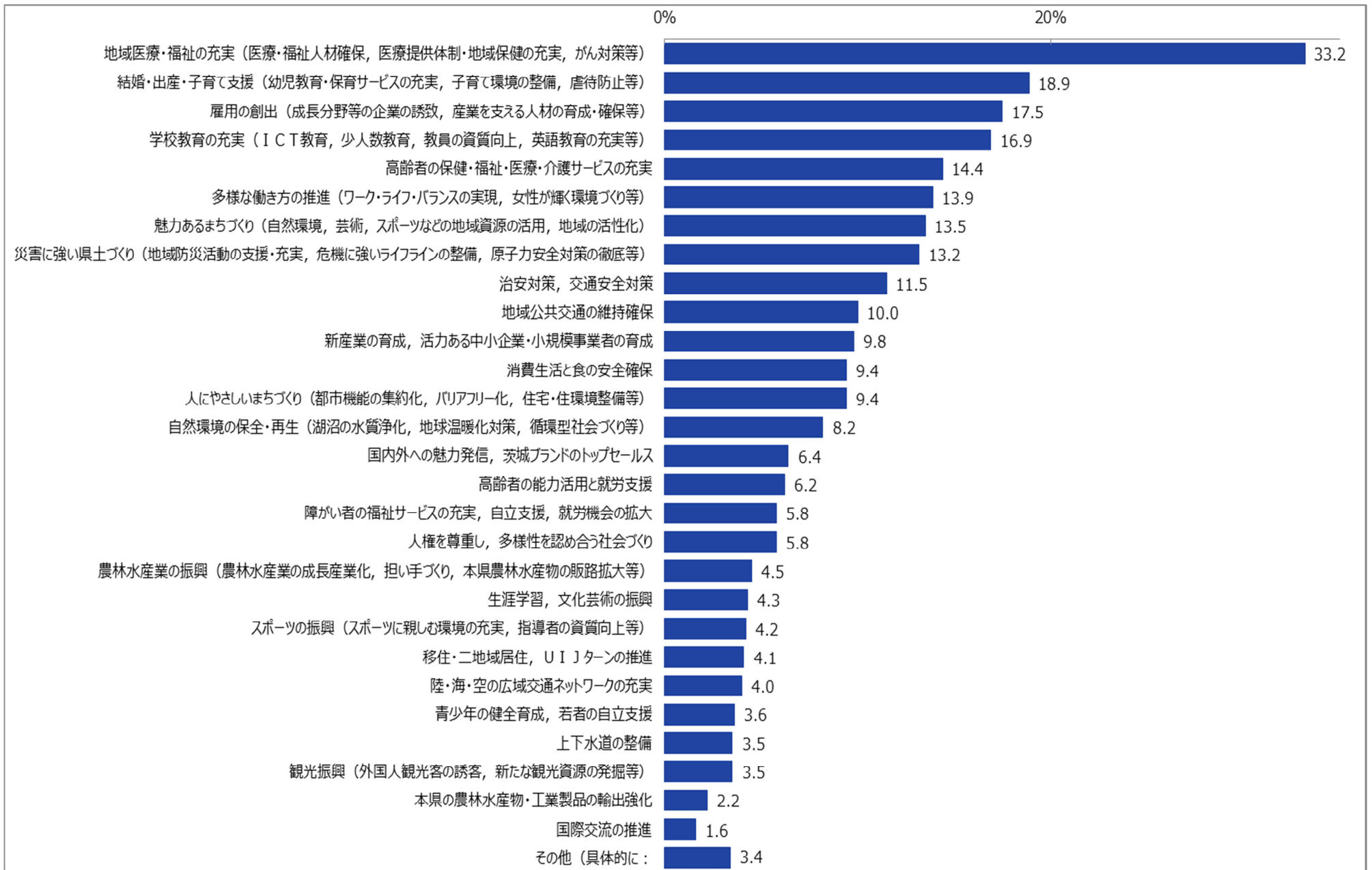
#### 4 県政への要望

- ◇ 「地域医療・福祉の充実（医療・福祉人材確保、医療提供体制・地域保健の充実、がん対策等）」が33.2%で最も高く、次いで「結婚・出産・子育て支援（幼児教育・保育サービスの充実、子育て環境の整備、虐待防止等）」が18.9%、「雇用の創出（成長分野等の企業の誘致、産業を支える人材の育成・確保等）」が17.5%と続く。

Q4.県の行政全般について考えた場合、あなたは、どのような面に力を入れてほしいと思いますか。あてはまるものを全体（1～29）の中から3つまで選んでください。

MA

|   | %     | n    |
|---|-------|------|
| 全体  | 100.0 | 1000 |
| 地域医療・福祉の充実（医療・福祉人材確保、医療提供体制・地域保健の充実、がん対策等）          | 33.2  | 332  |
| 結婚・出産・子育て支援（幼児教育・保育サービスの充実、子育て環境の整備、虐待防止等）          | 18.9  | 189  |
| 雇用の創出（成長分野等の企業の誘致、産業を支える人材の育成・確保等）                  | 17.5  | 175  |
| 学校教育の充実（ICT教育、少人数教育、教員の資質向上、英語教育の充実等）               | 16.9  | 169  |
| 高齢者の保健・福祉・医療・介護サービスの充実                              | 14.4  | 144  |
| 多様な働き方の推進（ワーク・ライフ・バランスの実現、女性が輝く環境づくり等）              | 13.9  | 139  |
| 魅力あるまちづくり（自然環境、芸術、スポーツなどの地域資源の活用、地域の活性化）            | 13.5  | 135  |
| 災害に強い県土づくり（地域防災活動の支援・充実、危機に強いライフラインの整備、原子力安全対策の徹底等） | 13.2  | 132  |
| 治安対策、交通安全対策   | 11.5  | 115  |
| 地域公共交通の維持確保   | 10.0  | 100  |
| 新産業の育成、活力ある中小企業・小規模事業者の育成                           | 9.8   | 98   |
| 消費生活と食の安全確保   | 9.4   | 94   |
| 人にやさしいまちづくり（都市機能の集約化、バリアフリー化、住宅・住環境整備等）             | 9.4   | 94   |
| 自然環境の保全・再生（湖沼の水質浄化、地球温暖化対策、循環型社会づくり等）               | 8.2   | 82   |
| 国内外への魅力発信、茨城ブランドのトップセールス                            | 6.4   | 64   |
| 高齢者の能力活用と就労支援                                       | 6.2   | 62   |
| 障がい者の福祉サービスの充実、自立支援、就労機会の拡大                         | 5.8   | 58   |
| 人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり                                | 5.8   | 58   |
| 農林水産業の振興（農林水産業の成長産業化、担い手づくり、本県農林水産物の販路拡大等）          | 4.5   | 45   |
| 生涯学習、文化芸術の振興  | 4.3   | 43   |
| スポーツの振興（スポーツに親しむ環境の充実、指導者の資質向上等）                    | 4.2   | 42   |
| 移住・二地域居住、UIJターンの推進                                  | 4.1   | 41   |
| 陸・海・空の広域交通ネットワークの充実                                 | 4.0   | 40   |
| 青少年の健全育成、若者の自立支援                                    | 3.6   | 36   |
| 上下水道の整備   | 3.5   | 35   |
| 観光振興（外国人観光客の誘客、新たな観光資源の発掘等）                         | 3.5   | 35   |
| 本県の農林水産物・工業製品の輸出強化                                  | 2.2   | 22   |
| 国際交流の推進   | 1.6   | 16   |
| その他（具体的に：   | 3.4   | 34   |



## 調査の目的

県民の生活意識や、県政に対する県民の意見、意識等を把握し、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために調査する。

## 実施概要

- ・実施期間 令和3年1月29日～2月5日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和2年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

|     |        | 県北  | 県央  | 鹿行 | 県南  | 県西  | 計     |
|-----|--------|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 全体  |        | 205 | 160 | 96 | 348 | 191 | 1,000 |
| 性別  | 男性     | 106 | 80  | 51 | 178 | 99  | 514   |
|     | 女性     | 99  | 80  | 45 | 170 | 92  | 486   |
| 年代別 | 18～29歳 | 33  | 27  | 17 | 65  | 33  | 175   |
|     | 30歳代   | 34  | 28  | 17 | 62  | 32  | 173   |
|     | 40歳代   | 46  | 37  | 21 | 81  | 42  | 227   |
|     | 50歳代   | 45  | 33  | 19 | 69  | 38  | 204   |
|     | 60歳代   | 47  | 35  | 22 | 71  | 46  | 221   |

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

## （注）

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。